

○ ベトナム・バイチャイ橋建設チーム

〔清水建設㈱、三井住友建設㈱〕

代表者 よし だ き よし
 吉 田 喜 義 （清水建設㈱ 作業所 所長）

メンバー 17名 （清水建設㈱ 11名 三井住友建設㈱ 6名）

ベトナム北部経済の活性化を目的に、世界遺産ハロン湾の北側海峡部で分断された国道18号線を接続する橋であり、実用性と世界遺産の景観と調和するランドマークとしての美観の両立が求められたシンボリックなプロジェクトである。1面吊りコンクリート斜張橋として世界最長の中央支間長435m実現のために、台風時50m/秒の横風対策として縮尺モデル風洞実験、強化箱桁断面、主塔内の液体ダンパー制振、斜張ケーブルの高減衰ゴムダンパー、光ファイバーひずみ計測システム等、日本企業ならではの最新高度な技術を実施適用した。最新施工技術等のテキスト化によるベトナム人技術者に対する研修や、同国初のニューマチックケーソン工法の技術移転など、ベトナムの人材育成・技術向上にも貢献した。

本橋の引渡し直前にこの地域で強風が発生し、約8,000戸が倒壊して住民多数が死傷した際、救急車を乗せるフェリーが運航できず、本橋を緊急対応で通行させたエピソードもあり、本橋の地域社会への貢献に対して住民の感謝は大きい。国際貢献案件として高く評価する。

